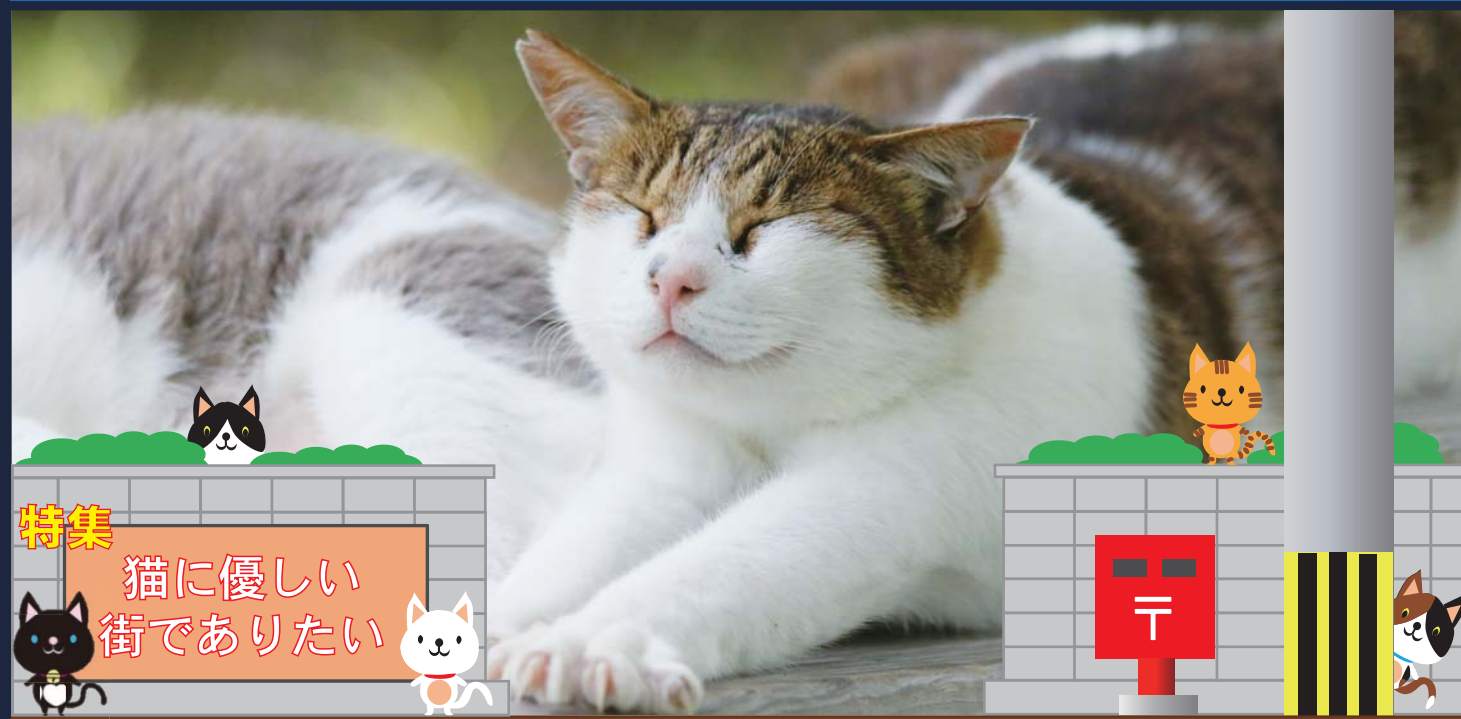


愛ランド通信

～人と動物の共生を目指して～ 平成28年度夏号



特集

猫に優しい街でありたい

京都動物愛護センターでボランティアをしています。この一年、たくさんの猫が新しい飼い主のもとに行き、猫の譲渡が進んでいるなあと感じました。しかし、皆さんも感じておられるように野良猫による問題は、まだまだなくなっていない。

収容された猫の頭数	約1600頭	譲渡された猫の頭数	約200頭
殺処分された猫の頭数	約1100頭	平成27年度 京都府・京都市合計の数字 殺処分の中には病気で死亡した猫は除く。	

収容された子猫たちの運命

猫の譲渡は進んでいますが、昨年度の愛護センターからの猫の譲渡数は200頭程で全体の約10%程です。収容される猫の約8割は野良猫が産み落とした子猫です。子猫たちは、収容した時点で重い病気になっていたり、衰弱していることも多く、生きるのが難しい状態です。その結果、麻酔薬の注射による安楽死処分にならざるをえないこととなります。譲渡されていく子猫たちは、奇跡的に助かったのです。獣医師は、1頭1頭注射し、心停止を確認します。こんな世の中ではあってはならない。いつかこんな事が終わる日が来て欲しい。獣医師は皆、そう思いながら注射をするそうです。こんな悲しい事態を減らすには、どうしたらよいのでしょうか。



減少しない猫の苦情

平成27年度に京都府内で寄せられた猫に関する苦情は、年間1000件以上に上ります。主な苦情として、ふん尿の臭い、鳴き声、ゴミをあさる、車に傷をつけられるなどが挙げられますが、必ずしも野良猫だけによるものではなく、外飼いの猫によるものも含まれています。また、京都府域で平成25年度に交通事故で死亡したと思われる猫の推計は、約6800頭にもなるそうです。他人に迷惑をかけた、交通事故に遭ったりしないよう、猫は完全屋内飼育をお願いします。

キシリトール入りの食品…肝不全を起こすことがあります。猫にドッグフード…猫は自分の体でタウリンを作れません。ドッグフードにはタウリンが入っていないものが多いので、食べ続けるとタウリン不足で失明することがあります。

食べ物以外で危険なもの

鶏や魚の骨、食べ物の匂いがする焼鳥の串やつまようじ、かつおぶしなどの食品パッケージも誤って食べてしまうことが多いものです。とがった先端が腸管等を傷つけたり、取り出すために開腹手術をしなければならないこともあります！

また、何げなく置いている人間の薬やサプリメントにも注意が必要です。遊んでいるうちに誤飲してしまうかも。薬によっては、ペットにとって有害であったり、過剰摂取になるおそれもあります。普段から、部屋の中に事故につながりそうなものはないか注意しましょう。

簡単に紹介しましたが、食べてはいけないものはこれ以外にもたくさんあります。食餌を手作りする場合の食材や調理方法や量など、気になる方は獣医さんに聞いてみてくださいね。

食べ物の管理もしっかりして長生きしてもらいたいですね！

(noe)

犬&猫の飼い方 注意情報

犬&猫に与えてはいけないもの

犬や猫が人間の食べ物を欲しがると熱いまなざしに負けてしまって、ついついあげたりしていませんか？それは食べても大丈夫なものでしょうか？人間にとっては普通のもので、命取りになるものもあります。その一部を紹介します。

食べてはいけないもの (犬も猫もほぼ同じ)

ネギ類 (玉ねぎ、長ねぎ、ニラ、ニンニクなど) …赤血球を壊す成分が含まれており、成分が溶け出したスープなども危険。

チョコレート・ココア…カカオに含まれるテオブロミンが有害。下痢、嘔吐、痙攣など中毒症状を引き起こします。

生エビ・生カニ・生タコ…甲殻類の肝臓は毒素があるので注意。嘔吐や下痢を引き起こします。

生イカ…嘔吐、痙攣などの中毒症状を引き起こします。

生の貝類 (アワビ、サザエ、ハマグリなど) …貝類の内臓に含まれる物質が光線過敏症 (日光によって毛の薄い部位、特に耳などにかゆみ、炎症が起きる病気。最悪、壊死の可能性もあります) を引き起こします。

インタビュー

センターから譲渡されたワンコその後、どうしていますか？

家族に迎えて

大型犬ハクとの運命的な出会い

犬を飼おうと考えていた住谷さんは、ペットショップで購入する気は全くなかったため、保護犬を探して大阪まで出向きましたが、いい機会にめぐり合いませんでした。



▼ハクと住谷さんご一家
「京都動物愛護センターでハクと運命的な出会いをしたのは、そんなときでした。おばあちゃんのためには小型犬が良いと思っていたのですが、本心を言うと家族全員大型犬が欲しかったんです」と語る住谷さん。「希望している小型犬ではなかったのに、“譲渡候補の中で一番いい子”だと確信し、「この子しかいない！」と家族全員の想いが一致したのが、決め手になりました。思ったとおり、譲渡後のハクは引っ張り癖も無く、子供たちだけでも安心して散歩に行くことができます。むしろ、ハクが気遣いながら歩いていて、何の苦勞もしていません。まるで家族の空気を読んで行動しているようで、とってもお利口さん。だからどこに行くのも一緒です」

「鹿児島への旅行では、フェリーや車に乗って往復しました。一番下の子とは一緒に寝る仲の良さ。ハクがうちに来てくれて寂しくなくなりました」とご家族みなさん大変うれしそうでした。

ボランティアとして活動している私は、ハクが大好きでした。ハクに新しい家族が出来たのを知り、そして愛されているのを見て、本当にうれしく思いました。ハクに会う機会が減ったのは寂しいけれど、幸せになっている姿を見て涙がこぼれそうになりました。つらい思いをした分、これからは住谷さんご一家にたくさん甘えて過ごしてね。(M.Y)



▲アイコンタクト中のハク。強い絆で結ばれています。

センターへのアクセス

- ・近鉄十条駅から徒歩5分
- ・京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩15分
- ・京都市営バス十条大宮 停留所から徒歩5分
- ※無料駐車場はありません



〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地
電話: 075-671-0336 FAX: 075-671-0338

開所時間: 午前9時～午後5時
休所日: 木曜日 (祝日の場合は翌金曜日)、年末年始

発行: 京都動物愛護センター

平成28年7月22日




編集後記
先日に行われた京都動物愛護センター1周年記念イベントで、名誉センター長の杉本彩さんが、「殺処分数は減っている。でも、それは人間目線であり明日殺される犬猫にとっては関係ない!」とコメントされました。私個人の想いではありますが、京都動物愛護センター・京都の地域猫・TNRを行っている皆さんとが連携して活動し、近い将来、猫の殺処分がない街になってほしいと思います。(SW)

本誌は“京都市人と動物が共生できるまちづくり基金”からも出資していただいています。まちづくり基金に寄附していただいた方の御名前はホームページにて公開いたします。なお、寄附の方法についても、こちらのホームページでご覧いただけます。

京都動物愛護センター

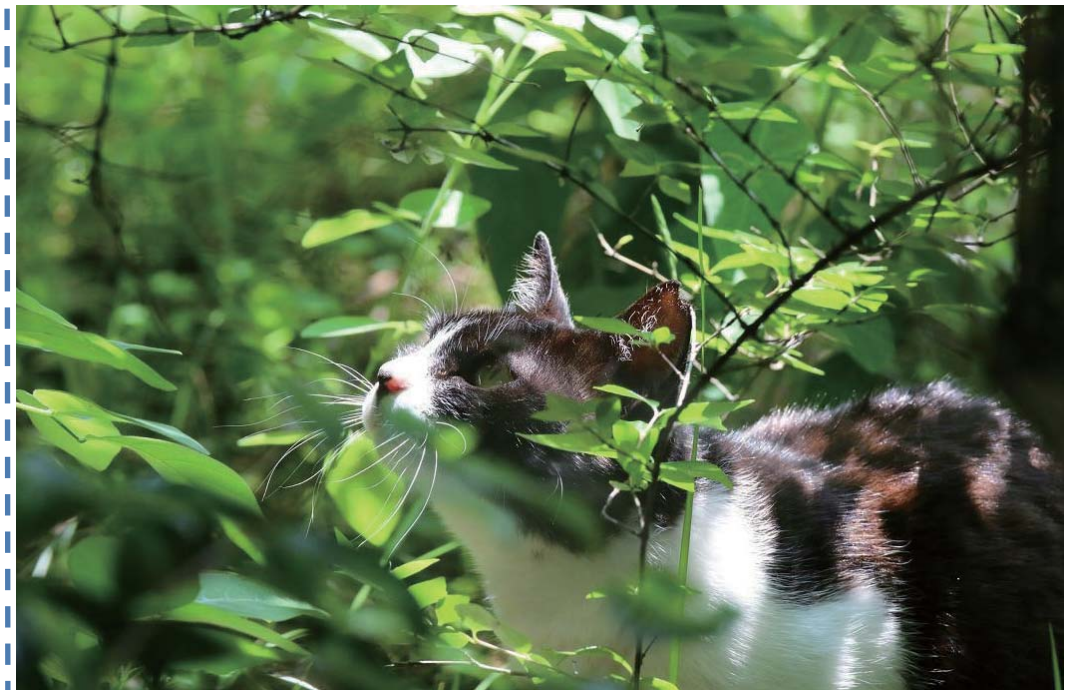
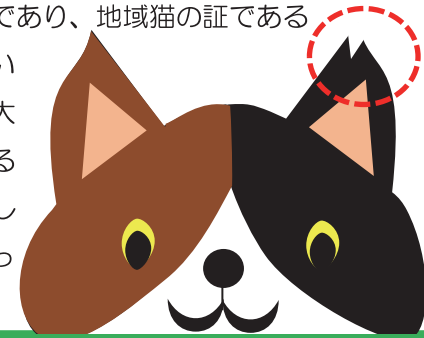
検索



特集
猫に優しい街でありたい

野良猫を減らすには、何よりも屋内飼育を徹底することです。保護や譲渡により屋内で飼ってあげることが一番です。しかし、どうしても、それができないときには、地域猫活動があります。

地域猫活動とは？ 地域猫活動とは、地域に暮らす野良猫に避妊手術を行うことにより、一代限りの命を全うさせるとともに、地域住民の理解と協力を得て、餌やふん尿の世話・周辺の美化など、適正に管理する活動をいいます。ただ単に餌をやるのではなく、野良猫の問題を地域の問題としてお住まいの皆さんの理解と協力の下、ふん尿などの始末や避妊去勢手術を行い、野良猫による被害や頭数そのものを減らします。避妊手術はオスメス両方に行われており、多くの場合、耳の先を少し切る（耳カット）ことで、手術が済んでいるとわかるようにしています。耳カットは、避妊手術の際に麻酔が効いている状態で行われています。見た目にこだわる為に行われる犬の断耳・断尾とは違い、猫の耳カットは管理する面でやむを得ないものであり、地域猫の証であることもみなさんに知っていただければと思います。他にも、大学の動物福祉サークルの大学生が、大学構内で地域猫活動を行っているところもあります。学生の街である京都市らしい活動であり、学生たちも立ち上がり頑張っています。



▲こんなところにも耳カット猫
地域猫活動をするにはどうしたらいいの？

地域猫活動を円滑に行うには、周辺住民の方の理解を得ることが不可欠です。また、一緒に活動する方を集めましょう。京都市にお住まいの方であれば、「京都市まちなこ活動支援事業」をご利用頂けます。町内会・地域住民の理解や合意も必要になりますが、登録されたグループには（公社）京都市獣医師会協力の下、京都市が避妊手術を無料で行い、活動を支援しています。詳しくはお住まいの区の保健センターにお問い合わせください。避妊手術をした猫たちには、左耳には耳カット、右耳にはナンバーを入れています。「京都市のまちなこ」の証明と個体管理が出来るようにする為

す。路上で死亡する猫が多い実態を考えれば、屋内飼養してくれる新しい飼い主さんを探す活動も大切です。猫の完全屋内飼育を目指しましょう。

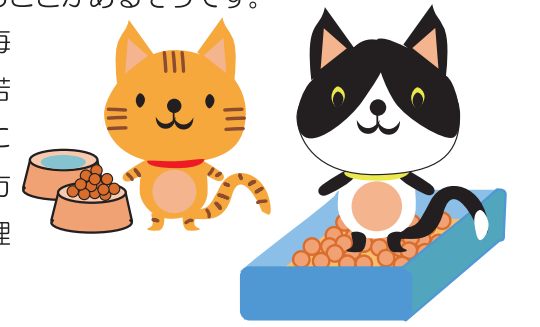
皆様へのお願い

地域猫活動を実施されている方の共通の悩みとして、他地域から猫を持ち込んで来る方が後を絶たないことがあげられます。

ここに持って来れば保護してくれる！という安易な気持ちで猫を持ち込むことは、絶対にやめてください。

実際に京都市でまちなこ活動をされている方から話を聞いたところ、まちなこに勝手に餌をあげる人がいて困ることがあるそうです。

活動を実施されている方々は、毎日休まず、猫たちのお世話をし、苦情の原因となるふん尿の始末等にも取り組んでいます。猫が嫌いな方も含め、活動に対するご協力とご理解をお願いしたいと思います。



猫の苦情が多くなると猫嫌いの人が増え、猫が地域の嫌われものになってしまいます。猫を排除するのではない問題解決の方法の一つとして地域猫活動があります。地域猫活動により、野良猫を減らしたいと考えています。日本のみならず、世界中からお客様が来られる京都。景観だけでなく、猫にも優しく心美しい街になって欲しいと願っています。（SW）

センターから新しい家族を迎えよう

譲渡の流れ

センターでこんなことやってます！

センターの犬猫に関心を持ってくださっている皆さん、犬猫を引き取りうと考えてくださっている皆さん、ありがとうございます。ここでは簡単に譲渡の流れをご説明します。



▲綺麗な目♡

①書類審査・面談

譲渡を希望される方には、書類をお渡しします。ご記入の上、センターに提出してください（郵送も可）。書類の審査および職員的面談等により、お住まいがペット飼育可能であるか、ご家族全員が飼育に同意されているかなどの要件をすべて満たされると判断できた方から、申込み順にご案内いたします。

初回の見学時にはお譲りできませんのでご了承ください。

②動物との面会

ご希望の条件にそって、譲渡候補の犬猫をご紹介し、相性を実際に見ていただきます。この際、一目見て決断される方もいれば、

何回も見に来られる方、初めはご自分だけで二回目は家族と一緒に来られる方など様々です。これから何年も家族として過ごしていただく犬猫ですから、納得いくまでじっくり検討してください。

③家庭訪問（お申込み内容による）

ご家庭に先住動物がいる場合等、譲渡するに当たって飼育環境の確認が必要と判断した場合は、譲渡前に家庭訪問を実施します。

④避妊手術予約証明の取得（猫のみ）

避妊処置未実施猫の譲渡を希望される場合、ご希望猫の不妊手術について、動物病院での予約手続を必ずお願いしています。

⑤譲り渡し

問題がないと確認できたら、いよいよ譲渡です。お迎えの日を決めて、申し込まれたご本人がお越しください。新しい家族のためのケージや首輪、リードをお忘れなく。センターでは今日もたくさんの犬猫が新しい飼い主さんとの出会いを待っています。みんないい子たちです。ペットを飼おうと検討中の皆さん、ぜひぜひセンターに足を運びください。（TM）



▲元氣いっぱいのツルさん

ボランティアスタッフ チーム活動紹介



ボランティア 普及啓発プログラム実践チーム

「普及啓発プログラム実践チーム」は、センターにいる犬や猫を知ってもらいながら、動物愛護について楽しく学べるプログラムの企画・制作を行っています。



▲楽しく進行

チーム活動奮闘中

普及啓発プログラム実践チームは6名が中心となり活動中です。現在、児童館の子供たちを対象に、夏休みの実施に向けて、プログラムの作り込みや、ボランティアスタッフを練習台に本番のリハーサルも行っていきます。また、普及啓発プログラムの実演回数を増やすために、チーム以外のボランティアスタッフでも実演できるよう、スタッフにも子供たちにも、楽しくわかりやすい内容のプログラムを目指し奮闘中です。

ボランティアは、シフトによって、来館者の対応をする「案内活動」と収容されている犬猫の世話をする「管理活動」をしています。それ以外に、希望によって参加するチーム活動を4つ設定しています。それぞれのチームで月1回程度の定例会を持ちながら、職員と一緒に活動を行っています。

私たちの想い

「犬プログラム」は、センターの犬舎見学や保護犬の紹介、犬のクイズ大会など、「猫プログラム」は、保護猫とのふれあい体験や猫のクイズ大会、センター内にある動物慰霊碑を前に亡くなった動物たちのお話をする予定です。センターに保護されている動物たちを通じ、動物愛護の気持ちを培ってもらえることが私たちの願いです。

また、センターにはドッグランや公園も併設されており、見学も気軽に出来ますので、ぜひ遊びに来てください。ね。（DON）



▲チームで、はいチーズ！